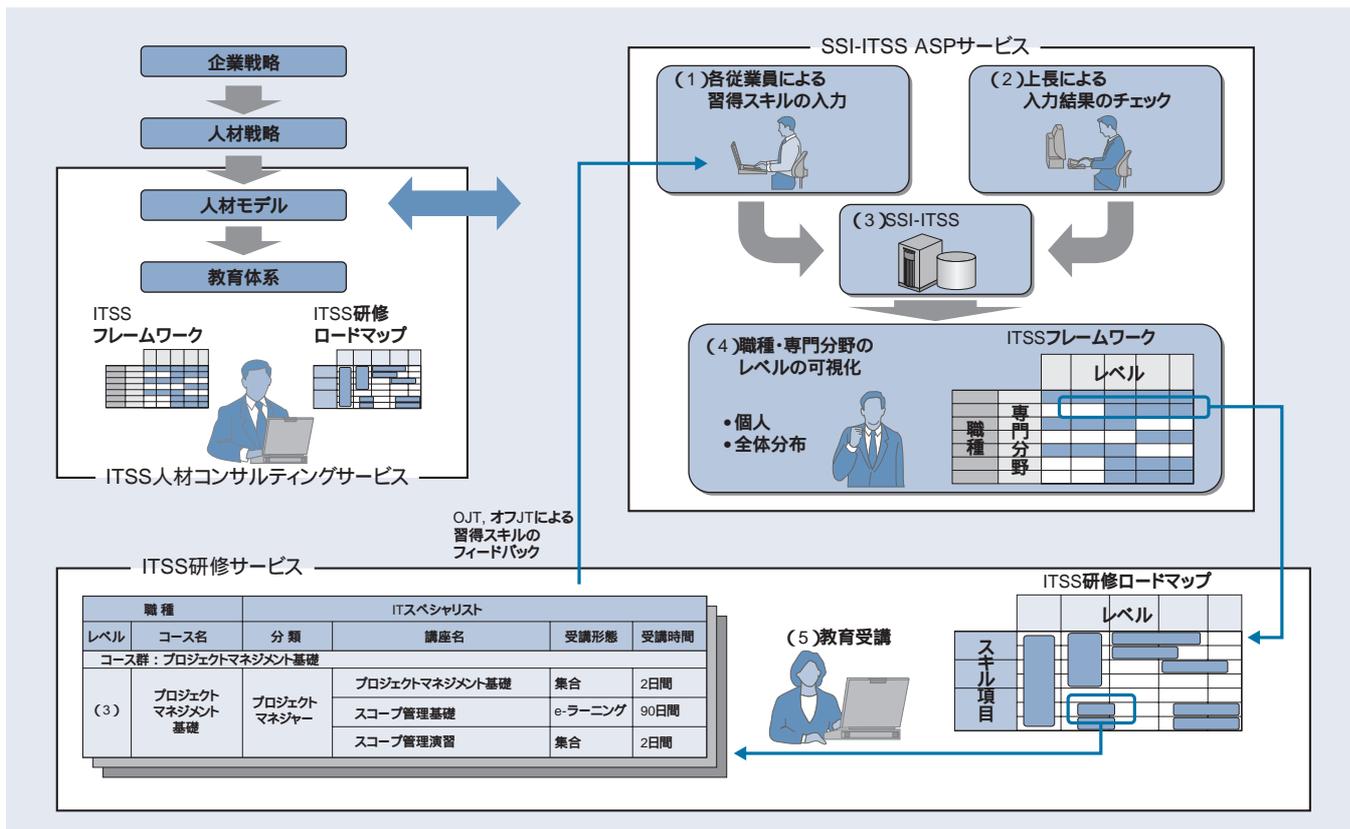


# IT人材の育成を支援する日立ITSSソリューション

## IT Skill Standard Solutions

加藤 祥史 Shōji Katō      森 慎介 Shinsuke Mori  
 梅崎 達也 Tatsuya Umezaki      若山 浩志 Hiroshi Wakayama



注:略語説明 ITSS( Information Technology Skill Standard ), SSI-ITSS( Skill Standard Inventory for ITSS ), ASP( Application Service Provider ), OJT( On-the-Job Training ), JT( Job Training )

### 日立グループのITSSソリューションの概要

日立グループは、企業戦略・人材戦略に基づいたIT人材の育成サイクルを実現するため、「ITSS人材コンサルティングサービス」、「SSI-ITSS ASPサービス」、および「ITSS研修サービス」から構成するITSSソリューションを提供している。

近年、IT産業界では国際的な競争がますます激化しており、わが国のIT業界には早急に競争力を強化することが求められている。経済産業省は、e-Japan戦略に基づき、効果的に人材を育成し、IT専門家個人がキャリアパスを確立できるように、各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化、体系化することを目的に、2002年12月に「ITスキル標準(ITSS)」を策定した。

このITSSをベースに、日立グループは、IT人材の育

成を支援するソリューションとして「日立ITSSソリューション」を開発した。これは、人材モデルや教育体系の構築を支援する「ITSS人材コンサルティングサービス」と、各人材と組織の強み、弱みを把握する「SSI-ITSS ASPサービス」、企業の長期的な人材育成を支援する「ITSS研修サービス」から構成する。日立グループは、この「日立ITSSソリューション」により、企業のIT人材育成に貢献していく。

## 1 はじめに

IT( Information Technology )の専門家に求められるスキルは多様化、高度化の一途をたどっており、また、ITエンジニアの人材ニーズも多様化している。そのため、ITSS( IT Skill Standard )では、ITエンジニアをビジネ

スの実情に沿うように、11職種38専門分野に体系化し、それぞれの専門分野に対応して、ITエンジニア個人を、その能力や実績に基づいて7段階に分類、定義した( 図1 参照 )。

ITSSには習得すべき研修科目を職種ごとに明示した「ITSS研修ロードマップ」が包含されているため、IT企業

職種	マーケティング	セールス	コンサルタント	ITアーキテクト	プロジェクトマネジメント	ITスペシャリスト	アプリケーションスペシャリスト	ソフトウェアデベロッパー	カスタマーサービス	オペレーション	エデュケーション
専門分野	マーケティングマネジメント 販売チャネル戦略 マーケティングコミュニケーション	訪問型コンサルティングセールス 訪問型製品セールス マーケティングコミュニケーション	メディア利用型セールス BT IT	パッケージ適用 アプリケーション データベース ネットワーク セキュリティ システムマネジメント	システム開発プロジェクト開発 システムインテグレーション アウトソーシング ネットワークサービス eビジネスソリューション プラットフォーム ソフトウェア開発	システム管理 データベース ネットワーク 分散コンピューティング セキュリティ 業務システム 業務システム	基本ソフト ミドルソフト 応用ソフト ハードウェア	カスタマーサービス オペレーション システムオペレーション ファシリティマネジメント ソフトウェア	研修企画 カスタマーサポート ネットワークオペレーション システムオペレーション	インストラクション	
ハイレベル	レベル7										
	レベル6										
	レベル5										
ミドルレベル	レベル4										
	レベル3										
エントリーレベル	レベル2										
	レベル1										

注:略語説明 BT(Business Transformation)

出典:独立行政法人情報処理推進機構「ITスキル標準概説書」

図1 ITSSフレームワークの概要

ITSS(IT Skill Standard)では、各種情報サービスの提供に必要な能力を明確化することを目的に、ITエンジニアの職種とスキルレベルを11職種38分野に体系化し、7段階に分類、定義した。

で人材育成のガイドラインとして活用できるだけでなく、IT技術者自身がみずからのキャリアプランと照らし合わせて効率的にスキルアップできるようにしている。

日立グループは、企業や大学に対し、人材育成をキーワードに、コンサルティングからシステム構築、さらに研修サービスの提供まで、トータルなソリューションとして人材開発ソリューション「LearningGate」を提供している。

ここでは、ITSSに対応した日立グループの人材育成ソリューションについて述べる。

## 2 日立ITSSソリューション

企業が抱える課題として、以下の点が挙げられる。

- (1) 高度なIT人材の不足
- (2) 必要なスキルを持った人材の把握、育成が困難  
これらを解決するため、「日立ITSSソリューション」は、以下の三つのサービスから構成している。
- (1) ITSS人材コンサルティングサービス  
企業戦略・人材戦略に基づいた「人材モデル」や、「教育体系」の構築を支援する。
- (2) SSI-ITSS ASP(Application Service Provider) サービス  
ITSSの構成要素であるITSSフレームワークを活用したもので、人材のスキルを棚卸しし、ITSSフレームワー

クでのレベルを可視化する。これにより、人材の習得スキルの習得状況と職種別のレベルの分布が把握できる。

### (3) ITSS研修サービス

ITSSの構成要素であるITSS研修ロードマップを活用し、ITSSで定義された職種、スキル項目に対応した研修の提供により、企業の長期的な人材育成を支援する。

以上のソリューションを通して、企業戦略に基づいた人材育成の目標設定、人材の把握、人材育成の手段の提供まで一貫したサービスを提供する。このうち、「SSI-ITSS ASPサービス」と「ITSS研修サービス」について以下に述べる。

### 2.1 SSI-ITSS ASPサービス

#### 2.1.1 概要

「SSI-ITSS ASPサービス」は、IT業界の企業に必要な人材のスキル、キャリアパスの可視化に加え、人材の分析・評価・育成を支援するため、ITSSユーザー協会<sup>1)</sup>が開発したスキル管理システムSSI-ITSSを、日立グループが企業向けにASPサービスとして提供するものである。このサービスを利用することで、従業員のスキル習

<sup>1)</sup> ITSSユーザー協会は、ITSSを活用することで、ITサービスプロフェッショナルの育成とスキル標準の定着を目指し、その活用推進と普及に寄与することを目的として、2003年12月に設立された特定非営利活動法人である。

得状況や、職種別のレベルの人材分布を把握できる。また、このサービスのアウトプットは経営戦略・人材戦略に即した育成計画の立案や、人材の適正配置、人材のキャリアパスの明確化などに活用することができる。

### 2.1.2 機能

「SSI-ITSS ASPサービス」には、大別して、(1)習得スキルを入力と、(2)入力された習得スキルから可視化されるITSSフレームワークのレベルの人材分布表示機能の二つの機能がある。

従業員が習得スキルを入力し、上長が確認、修正した結果に対し、ITSSフレームワークでのレベルが表示される。

習得スキル入力機能では、遂行能力、要素技術、業務知識、業界知識の四つのジャンルについて、「知識なし」、「単独で実行可能」、「後進の育成が可能」などの五者択一のアンケートに回答する。

ITSSフレームワークの表示では、自分がITSSの11職種38専門分野7レベルのどこに該当しているかが、一目で確認できるようにしている。これにより、従業員個人だけでなく、全従業員の習得スキルの棚卸しができ、ITSSフレームワーク上で、職種別のレベルの全社分布を確認することができる(図2参照)。

### 2.1.3 導入効果

「SSI-ITSS ASPサービス」により、従業員は現状のレベルと、不足しているスキルを把握でき、スキル向上に向けた取り組みを効果的に実施できる。また、経営者にとっては、従業員のスキル保有状況から、組織としての「強み」や「弱み」といった組織能力の把握ができる。さらに、従業員が自発的にスキル向上を図ることによる組織能力の向上といった効果があり、企業戦略、人材戦略の1ツールとして有効活用が可能となる。現在「SSI-ITSS ASPサービス」については、日立グループ内の一部で導入し、試行中である。

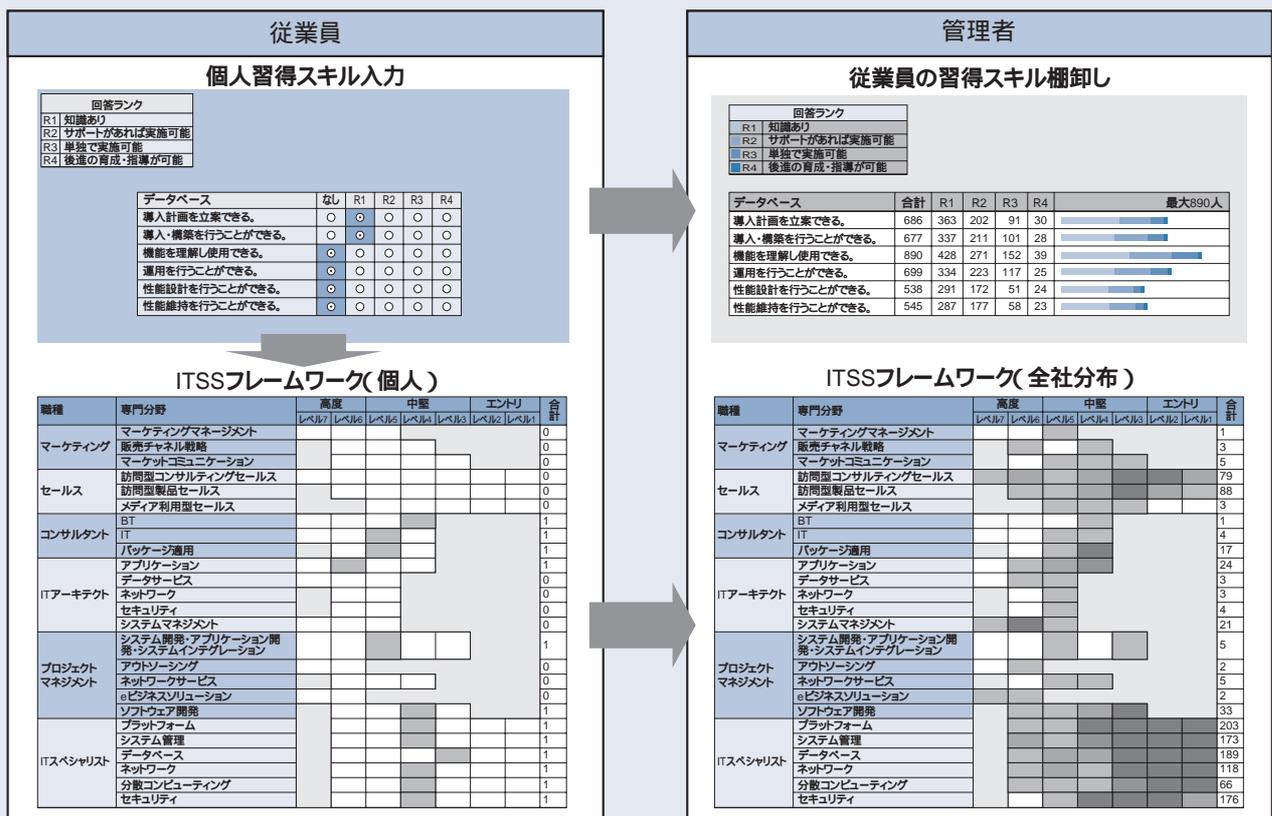
## 2.2 ITSS研修サービス

### 2.2.1 基本コンセプト

「日立ITSSソリューション」は人材育成を目的とするソリューションであり、「ITSS研修サービス」は、知識付与だけでなく、人材育成の手段として位置づけられている。また、「ITSS研修サービス」はテンプレートとして位置づけられ、人材育成の目的に合わせて取捨選択・追加・内容変更が可能である。

### 2.2.2 概要

「ITSS研修サービス」では、ITSSで定められた11職種



注:略語説明 SSI-ITSS( Skill Standard Inventory for ITSS )

### 図2 SSI-ITSS ASPサービスの概要

従業員は、現状のレベルと不足スキルが、管理者は、全従業員のスキル保有状況とITSSフレームワークの全社分布状況がそれぞれ把握できる。

のうち、ニーズの高いものを中心に、「コンサルタント」、「ITアーキテクト」、「プロジェクトマネジメント」、「ITスペシャリスト」、および「アプリケーションスペシャリスト」の5職種に対応した研修を開発しており、これらの職種を人材育成目標のテンプレートとして考えている。

各職種の研修は、30から40の講座群から成る。大別すると、(1)知識習得を求められるエン트리レベル向け講座群と、(2)業務上の課題・解決のリードを求められるミドルレベル向け講座群から構成する(図3参照)。

### 2.2.3 エントリーレベル向け講座群

ITSSエン트리レベルでは、スキル専門分野が確立されておらず、当該職種の上位レベル者の指導下で、業務上の課題の発見・解決を行えるレベルを指す。そのため、みずからのキャリアパス実現に向けて積極的なスキルの研さんが求められる。

エン트리レベル向け講座群は全職種共通であり、集合研修・eラーニングを中心に構成している。これは、日立製作所・日立グループの社内教育で実績がある講座を基にしている。

### 2.2.4 ミドルレベル向け講座群

ITSSミドルレベルは、スキルの専門分野が確立し、みずからのスキルを駆使することによって、業務上の課題の発見・解決をリードすることができるレベルを指す。

ミドルレベル向け講座群は、いっそう高度なスキル習得を目指して、集合研修・eラーニングをセット化したブレンド型講座や、業務上の課題をケース化して、討論するワークショップを中心としている。

なお、ミドルレベル向け講座群は、ITSS研修ロードマップに記述されているレベルアップのための研修方法を基にして、日立製作所で新規に開発したものである。

職種	レベル1~2	レベル3~4	レベル5~7
・マーケティング ・セールス ・コンサルタント	エントリーレベル向け講座群  ●全職種共通 ●集合研修とeラーニング  ●日立製作所、日立グループ教育で実績あり	ミドルレベル向け講座群	
・ITアーキテクト		●コンサルタント固有講座	
・プロジェクトマネジメント		●ITアーキテクト固有講座	
・ITスペシャリスト		●プロジェクトマネジメント固有講座	
・アプリケーションスペシャリスト		●ITスペシャリスト固有講座	
・ソフトウェア開発		●アプリケーションスペシャリスト固有講座	
・カスタマーサービス ・オペレーション ・エデュケーション		●ブレンド型ワークショップを中心とするカリキュラム ●研修ロードマップのスキル項目を基に新規に開発	

図3 ITSS研修サービスの概要

ITSSで規定された職種の人材育成を想定して、全職種共通のエン트리レベル向け講座群と、各職種固有のミドルレベル向け講座群から構成している。

## 2.2.5 まとめ

今回、日立グループ内の社内教育ノウハウを生かして新規講座を開発し、既存の講座を含めて「ITSS研修サービス」として体系化した。ITSSの5職種のエントリレベルからミドルレベルまで一貫した研修を提供することで、長期的な人材育成を支援していく。

## 3 おわりに

ここでは、ITSSに対応した日立グループの人材育成ソリューションについて述べた。

日立グループは、今後もITSS関連のコンサルティング体制を拡充し、「SSI-ITSS ASPサービス」と「ITSS研修サービス」を連携させるナビゲーション機能の開発や、ITSS研修の拡充の推進により、企業の人材育成に貢献していく考えである。

### 参考文献など

- 1) 経済産業省:ITスキル標準 ITサービスプロフェッショナル育成の基盤構築に向けて (バージョン 1.1) (2003.7)
- 2) 独立行政法人 情報処理推進機構,株式会社日経BP:ITスキル標準概説書(2004.1)
- 3) 特定非営利活動法人 ITSSユーザー協会ホームページ, <http://www.itssug.org/>

### 執筆者紹介



加藤 祥史

2001年日立製作所入社,情報・通信グループ アウトソーシング事業部 ラーニングソリューション統括センター 所属  
現在,SSI-ITSS ASPサービスの事業推進に従事  
E-mail:shoji.kato.wh@hitachi.com



梅崎 達也

1990年日立製作所入社,情報・通信グループ アウトソーシング事業部 ラーニングソリューション統括センター 所属  
現在,ITSSソリューションの商品開発に従事  
E-mail:tatsuya.umezaki.qw@hitachi.com



森 慎介

1984年日立電子サービス株式会社入社,日立製作所 情報・通信グループ アウトソーシング事業部 ラーニングソリューション統括センター 所属  
現在,SSI-ITSS ASPサービスの事業推進に従事  
E-mail:morishin@hitachi-densa.co.jp



若山 浩志

1989年日立製作所入社,情報・通信グループ アウトソーシング事業部 ラーニングソリューション統括センター 所属  
現在,ラーニングソリューションの事業推進に従事  
E-mail:hiroshi.wakayama.es@hitachi.com